

西部中便り

西部中学校便り No 12
令和7年 12月24日
文責 校長 田中 学

令和8年度西部中学校「生徒会会長選挙」

11月27日（木）は令和8年度生徒会選挙でした。9名というこれまでにはなかった数の立候補者でした。立ち合い演説会は、質問や意見などとても活発な議論の場となりました。1年生主体の選挙管理委員会の働きかけも素晴らしく、無効票はほぼゼロでした。また、1年生の聞く態度も以前と比べるととても良くなりました。

その中で、令和8年度の生徒会長は、植松廉さん（2年4組）が選出されました。

本年度の「絶対的安心感」の確立をうけ継ぎ、協力してよりよい学校を目指して活動をしてほしいと思います。

「令和7年度生徒会活動」について、生徒会本部と振りかえる

○生徒会長選挙を受け、令和7年度の生徒会本部役員に集まってもらい、これまでの生徒会活動を振り返りました。

1 質問（校長）：「4月から今までを振り返って、どのような感想を持っていますか。」

「私たちは1年生の成長を実感しています。1年生の行動は最初よりも良くなっていると思います。それは、挨拶、礼儀などです。」

「1年生が、走る、叫ぶなどが多かったけど、いろんな取り組みをしてく中で、成長したと感じている。」

「3年生はとても、落ち着いて、授業や受検勉強に向かっていると思います。」「2年生は、とても落ち着いていて、ふれ合う機会は少なかったのですが、挨拶などとてもよくしてくれます。」

「全校集会など、入退場の時「無言」を呼びかけているが、みんなで声かけをしてくれていたので、とても良かったと思います。みんなで声をかけているところが、成長だと思います。」

2 質問：「これまでの生徒会活動を振り返って、どんな感想を持っていますか。」

「2回の人権集会は力を入れることができた。意識、考え方方が高まっていたと思う。今日の人権集会もそうだったが、少しずつ、日常生活で考える機会が増えていけばと思う。」

「放課後の清掃ボランティアも1年生から3年生まで、参加をしてくれた。その数50名！とても嬉しかった。」

3 質問：「自分たち自身についての感想をお願いします。」

「私たちも成長したと思う。何をしたらよいかが分らなかった。能力が自然と身についたように感じる。」

「思い出に残っているのは、エイブルで1年間の計画を立てたこと。みんなで考えることがとても楽しかった。」

『「生徒会本部」としての「看板」を背負うことの大変さを感じた。企画の実行について、時間が足りなかった。』

4 質問：「新生徒会に伝えたいことをお願いします。」

『「2分前着席について」タイマーを利用するなど、何が課題なのかを考えて、改善してほしい。』

『「生徒会は楽しく、仲良く、笑いあって」が大切だと思う。全校生徒を含めて友達と頑張ってほしい。』

「責任感を持つことは、とても大切。時間がないけど、実行に移してほしい。」

「絶対的安心感」「礼儀」は受け継いで、作り上げてほしい。』